

目 次

四国防災・危機管理プログラム 各コース概要

1. 制度の概要	1
(1) 目標	1
(2) 開設コース概要	1
2. 開設授業科目	1
3. 修了要件	2
4. 授業科目、単位数及び履修方法	3
(1) 履修について	3
(2) 時間割	3
(3) 単位認定及び学業成績	3
(4) 修了認定	3
5. 連携大学の所在地と問合せ先	4
別表1 四国防災・危機管理プログラム授業科目一覧	5

四国防災・危機管理プログラム授業科目 シラバス

共同実施基礎科目	6
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群	10
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群	12
実務演習科目	14



表紙のBPのロゴは、学び直したいと考える社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定した証です。詳しくは、文部科学省のHP https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/ をご覧ください。

四国防災・危機管理プログラム 各コース概要

1. 制度の概要

(1) 目標

本事業は、東日本大震災を踏まえて、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家の養成を目標としています。

南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、香川大学と徳島大学は、「防災士養成講座」や「建設業 BCP 策定支援」等の連携実績、成果を活用して、香川県と徳島県の協力の下に新たなプログラムを開設し、社会が必要とする実践力を備えた防災・危機管理の専門家を養成します。

(2) 開設コース概要

四国防災・危機管理プログラムで開設しているコースは次の2つです。

① 行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース（香川大学）

地域社会を構成する自治体・企業・医療機関等の地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP・MCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。

② 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース（徳島大学）

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。

2. 開設授業科目

四国防災・危機管理プログラムの授業科目は、香川大学、徳島大学で4つの科目区分から編成されています。

共同実施基礎科目（各コース共通）	
行政・企業・医療防災・危機管理 マネージャー養成科目群 （香川大学）	行政・企業防災・危機管理 マネージャー養成科目群 （徳島大学）
実務演習科目	実務演習科目

科 目 区 分	概 要
共同実施基礎科目	各コース共通の修了要件科目で構成されています。
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群（香川大学）	行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群（徳島大学）	行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。
実務演習科目	各コースにそれぞれ対応する実務演習科目で構成されています。

（注）開講科目一覧は別表1のとおりです。

3. 修了要件

四国防災・危機管理プログラムの各コースを修了するためには、所定の単位を修得し、四国防災共同教育センターから修了認定を受ける必要があります。

各コースの修了要件は次のとおりです。

○行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース修了要件（香川大学）

共同実施基礎科目	行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群	実務演習科目	合 計
7 単位	4 単位	1 単位	1 2 単位以上

○行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース修了要件（徳島大学）

共同実施基礎科目	行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群	実務演習科目	合 計
7 単位	4 単位	1 単位	1 2 単位以上

4. 授業科目、単位数及び履修方法

「四国防災・危機管理プログラム」は、通常の大学における専攻とは異なり、各大学研究科・専攻科横断型のプログラムとして開講されます。コース修了によって各大学研究科・専攻科の修了となるものではありませんが、プログラムを修了することにより各コース内容に沿った専門知識を身につけることができます。また、四国防災共同教育センターからコース修了認定を受けることができます。

四国防災・危機管理プログラムには、2つのコースがあり、各コースの授業科目及びその単位数は、別表1のとおりです。これらの授業科目について、コース修了要件に沿って、履修し修得する必要があります。

(1) 履修について

授業の履修にあたり受講する科目によっては、実習等が必要な場合もあり、開講大学院まで行く必要がありますので、シラバス等で確認してください。

(2) 時間割

四国防災・危機管理プログラムの授業科目は次の時間で開講します。

授業時間割の開講科目を基に受講科目の確認をしてください。

授業時間

授業時間	16:20 ~ 17:50	18:30 ~ 20:00
------	---------------	---------------

- 1つの授業科目は、1週間に1回、1学期間で16回（週）行うことを基本とします。
- 通学日は最大で週2日です。例として、現在開講しているコースでは、1年目の前期（4月～8月）は毎週月・火曜日、後期（10月～2月）は火・水曜日が講義日となります。
- 上記の他に16回の授業をまとめて行う集中講義もあります。
- 遠隔地での授業は、遠隔講義システムを利用し受講できます。ただし、授業によっては実習が必須のものがあります。

(3) 単位認定及び学業成績

授業科目の修了の認定は、その授業科目についての出席状況が十分であると認めた学生について、筆記若しくは口頭による試験又はレポート等により行うものとし、それに合格した学生には、各大学大学院の基準により所定の単位を認定します。

(4) 修了認定

修了認定は、学生が四国防災・危機管理プログラムに係る単位を履修により修得し、四国防災共同教育センターにおいて各コースの修了要件を満たしたと見なされた場合に修了を認定されます。

また、修了者には「災害・危機対応マネージャー[®]」の資格が与えられます。

5. 連携大学の所在地と問合せ先

【香川大学】

四国防災共同教育センター 事務局

〒 761-0396 香川県高松市林町 2217 番地 20

創造工学部 演習研究棟 3F 事務局

TEL (087) 864-2539

工学研究科 創造工学部事務課学務係

〒 761-0396 香川県高松市林町 2217 番地 20

TEL (087) 864-2015

医学系研究科 医学部学務課大学院・入学試験係

〒 761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750 番地 1

TEL (087) 891-2075

【徳島大学】

徳島大学環境防災研究センター

〒 770-8506 徳島県徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

TEL (088) 656-8965

【ホームページ】

四国防災共同教育センター

<http://www.kagawa-u.ac.jp/dpec/>

別表 1

四国防災・危機管理プログラム授業科目一覧

区 分	科 目 名 称	単位数	開講 年次	開講 学期	曜日	シラ バス
共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション	2	1	前期	月 18:30 ～	1
	危機管理学	2	1	前期	火 18:30 ～	2
	災害と健康管理・メンタルヘルスケア (徳島大学ではメンタルヘルスケアとして開設)	2	1	後期	火 18:30 ～	3
	防災・危機管理実習	1	1	後期	集中	4
行政・企業・医療防災・ 危機管理マネージャー 養成科目群 (香川)	行政・企業・医療のリスクマネジメント	2	1	後期	水 18:30 ～	5
	事業継続計画 (BCP・MCP) の策定と実践	2	2	前期	月 16:20 ～	6
行政・企業防災・危機 管理マネージャー養成 科目群 (徳島)	行政・企業のリスクマネジメント	2	1	後期	水 18:30 ～	7
	事業継続計画 (BCP) の 策定と実践	2	2	前期	月 16:20 ～	8
実務演習科目	行政・企業防災・危機管 理実務演習	1	2	後期	指導教員 と相談	9
	救急救命・災害医療実務 演習	1	2	後期	指導教員 と相談	10

※シラバスに記載した授業計画等に変更になる場合があります。

四国防災・危機管理プログラム授業科目 シラバス

No. 1

共同実施基礎科目

科 目 名	リスクコミュニケーション（2単位）		
担 当 教 員	中野 晋（徳島大学） 井面仁志、萩池昌信（香川大学）他	開 講 曜 日 等	1 年次 前期 月 18:30 ～ 20:00
授業概要及び授業計画			
■授業の目的			
リスクは不確実性をもっていることを踏まえ、リスクの捉え方と不確実性の評価、リスク情報とリスクに対する人びとの認知について学ぶ。それらを踏まえ、リスク対策の中でのリスクコミュニケーションの位置づけと多様な問題に言及し、課題事例等から考え方の理解を深める。			
■授業の概要			
本講義では、リスクは不確実性をもっていることを踏まえ、リスクの捉え方と不確実性の評価、リスク情報とリスクに対する人びとの認知について学ぶ。それらを踏まえ、リスク対策の中でのリスクコミュニケーションの位置づけと多様な問題に言及し、課題事例等から考え方の理解を深める。			
授業は、第3、5、6、9～12回は実務家教員や実務家を講師とする授業を、第2～4、7、9、10、13～16回は少人数によるグループディスカッションを実施する。			
■キーワード			
リスク、リスクコミュニケーション			
■到達目標			
1. リスクコミュニケーションとは何かについて理解する。			
2. リスクコミュニケーションの手法について理解する。			
3. リスクコミュニケーションの実践事例を学ぶ。			
■授業計画			
1. リスクコミュニケーションとは何か	井面 仁志		
2. リスクコミュニケーションの技法① アイスブレイク手法	湯浅 恭史		
3. リスクコミュニケーションの技法② ワークショップ①	金井 純子		
4. リスクコミュニケーションの技法③ ワークショップ②	野々村 敦子		
5. リスクコミュニケーションの技法④ 言語表現（理論）	平石 加奈子（フリーアナウンサー）		
6. リスクコミュニケーションの技法⑤ 言語表現（演習）	平石 加奈子（フリーアナウンサー）		
7. リスクコミュニケーションの技法⑥ ワークショップ③	畠 一樹		
8. コンセンサスビルディングとメディエーションの考え方	山中 英生		
9. 行政におけるリスクコミュニケーションの事例と課題	松本 秀應		
10. 企業におけるリスクコミュニケーションの事例と課題	湯浅 恭史		
11. 医療機関におけるリスクコミュニケーションの事例と課題	萩池 昌信		
12. 原子力施設等におけるリスクコミュニケーションの事例と課題	黒崎ひろみ（清水建設株式会社）		
13. 教育機関におけるリスクコミュニケーションの事例と課題	中野 晋		
14. リスクコミュニケーションの設計演習①	中野 晋		
15. リスクコミュニケーションの設計演習②	中野 晋		
16. リスクコミュニケーションの事例発表＋レポート試験	中野 晋		

共同実施基礎科目

科 目 名	危機管理学（2単位）		
担 当 教 員	白木 渡（香川大学）、上月康則（徳島大学） 森 伸一郎（愛媛大学） 他	開 講 曜 日 等	1 年次 前期 火 18:30 ～ 20:00
授業概要及び授業計画			
■授業の目的			
危機管理（クライシスマネジメント）とは、危機を予防・回避し、災害に至った場合に損害を少なくするための措置をいい、これを実現するための学問を危機管理学という。ここでは危機管理のための基本的知識や手法を習得することを目的とする。			
■授業の概要			
本講義では、自然災害や人為的な事故等により国家、社会、組織、個人が致命的な状況に至ることを回避・予防し、万が一被災した場合にも被害を最小限に止めるために必要な計画、行動基準等の策定方法や被災事例を事前対策に反映する手法について学ぶ。			
授業は、第3、7～10、12、13、15回は実務家教員や実務家を講師とする授業を、第5、6、8、9、13回は少人数によるグループディスカッションを実施する。			
■キーワード			
危機管理、クライシスマネジメント、危機の回避・予防、減災			
■到達目標			
1. 危機管理の基礎知識を習得するとともに危機管理の手法について理解する。			
2. 危機管理の実践事例を学ぶ。			
■授業計画			
1. オリエンテーション／危機管理の枠組み		白木 渡	
2. 減災防災学概論		森 伸一郎	
3. 危機管理と法体系		非常勤講師（徳島県危機管理部）	
4. 大地の成り立ちから考える危機管理		野々村 敦子	
5. 災害事例と危機管理（1）－ 自然災害と危機管理	－	上月 康則	
6. 災害事例と危機管理（2）－ 環境災害と危機管理	－	上月 康則	
7. 災害事例と危機管理（3）－ 医療災害と危機管理	－	萩池 昌信	
8. 災害事例と危機管理（4）－ 産業災害と危機管理	－	梶谷 義雄	
9. 民間企業の事業継続計画		湯浅 恭史	
10. 地方自治体の業務継続計画		非常勤講師（徳島県危機管理部）	
11. 災害時の教育継続計画（ECP）		中野 晋	
12. 災害時のボランティア活動		川崎 克寛	
13. 社会福祉施設の業務継続計画		金井 純子	
14. 災害後に起こる心身の変化と対応		内海 千種	
15. 地域継続計画（DCP）		白木 渡、磯打 千雅子	
16. 課題発表とレポート提出		白木 渡、上月 康則、森 伸一郎	

共同実施基礎科目

科 目 名	災害と健康管理・メンタルヘルスケア（2単位） （徳島大学ではメンタルヘルスケアとして開設）																																		
担 当 教 員	黒田泰弘、平尾智広（香川大学） 他	開 講 曜 日 等	1 年次 後期 火 18:30 ～ 20:00																																
授業概要及び授業計画																																			
■授業の目的 災害対策に携わる全ての人が身につけるべき、災害医療、健康管理、衛生管理及びメンタルヘルスケアの基礎を習得する。 ■授業の概要 災害医療、健康管理、衛生管理の基本的知識を学ぶ。またメンタルヘルスケアの知識及び実践の基本について学ぶ。PFA（サイコロジカル・ファースト・エイド）研修では、心のケアについても学習可能であり、研修修了者には修了証が交付される。なお、本研修は WHO 版 PFA の正規研修である。 授業は、第 1、6 ～ 9、16 回は実務家教員や実務家を講師とする授業を、第 11 ～ 15 回は少人数によるグループディスカッションを実施する。 ■キーワード 災害医療、健康管理、衛生管理、避難所、メンタルヘルスケア ■到達目標 1. 災害医療の基礎を理解する。 2. 災害時の健康管理、衛生管理の基礎を理解する。 3. 災害時のメンタル・ヘルス・ケアの方法及び実践について理解する。 ■授業計画 <table><tr><td>1. 災害医療総論</td><td>黒田 泰弘</td></tr><tr><td>2. 災害時の健康管理（1）</td><td>平尾 智広</td></tr><tr><td>3. 災害時の健康管理（2）</td><td>平尾 智広</td></tr><tr><td>4. 災害時の健康管理（3）</td><td>平尾 智広</td></tr><tr><td>5. 災害時の健康管理（4）</td><td>平尾 智広</td></tr><tr><td>6. 災害医療の実際</td><td>近藤 久禎（災害医療センター）</td></tr><tr><td>7. 災害弱者</td><td>川内 敦文（高知県健康政策部健康対策課）</td></tr><tr><td>8. 特殊危険物質、環境保健</td><td>西山 隆（自衛隊中央病院）</td></tr><tr><td>9. 高齢者</td><td>小早川 義貴（災害医療センター）</td></tr><tr><td>10. 避難所の衛生・環境管理</td><td>中瀬 克己（吉備国際大学）</td></tr><tr><td>11. メンタルヘルスケア（1）PFA 研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr><tr><td>12. メンタルヘルスケア（2）PFA 研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr><tr><td>13. メンタルヘルスケア（3）PFA 研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr><tr><td>14. メンタルヘルスケア（4）PFA 研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr><tr><td>15. メンタルヘルスケア（5）PFA 研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr><tr><td>16. 総合討論</td><td>萩池 昌信</td></tr></table>				1. 災害医療総論	黒田 泰弘	2. 災害時の健康管理（1）	平尾 智広	3. 災害時の健康管理（2）	平尾 智広	4. 災害時の健康管理（3）	平尾 智広	5. 災害時の健康管理（4）	平尾 智広	6. 災害医療の実際	近藤 久禎（災害医療センター）	7. 災害弱者	川内 敦文（高知県健康政策部健康対策課）	8. 特殊危険物質、環境保健	西山 隆（自衛隊中央病院）	9. 高齢者	小早川 義貴（災害医療センター）	10. 避難所の衛生・環境管理	中瀬 克己（吉備国際大学）	11. メンタルヘルスケア（1）PFA 研修	平尾 智広 他	12. メンタルヘルスケア（2）PFA 研修	平尾 智広 他	13. メンタルヘルスケア（3）PFA 研修	平尾 智広 他	14. メンタルヘルスケア（4）PFA 研修	平尾 智広 他	15. メンタルヘルスケア（5）PFA 研修	平尾 智広 他	16. 総合討論	萩池 昌信
1. 災害医療総論	黒田 泰弘																																		
2. 災害時の健康管理（1）	平尾 智広																																		
3. 災害時の健康管理（2）	平尾 智広																																		
4. 災害時の健康管理（3）	平尾 智広																																		
5. 災害時の健康管理（4）	平尾 智広																																		
6. 災害医療の実際	近藤 久禎（災害医療センター）																																		
7. 災害弱者	川内 敦文（高知県健康政策部健康対策課）																																		
8. 特殊危険物質、環境保健	西山 隆（自衛隊中央病院）																																		
9. 高齢者	小早川 義貴（災害医療センター）																																		
10. 避難所の衛生・環境管理	中瀬 克己（吉備国際大学）																																		
11. メンタルヘルスケア（1）PFA 研修	平尾 智広 他																																		
12. メンタルヘルスケア（2）PFA 研修	平尾 智広 他																																		
13. メンタルヘルスケア（3）PFA 研修	平尾 智広 他																																		
14. メンタルヘルスケア（4）PFA 研修	平尾 智広 他																																		
15. メンタルヘルスケア（5）PFA 研修	平尾 智広 他																																		
16. 総合討論	萩池 昌信																																		

共同実施基礎科目

科 目 名	防災・危機管理実習（1単位）		
担 当 教 員	白木渡、黒田泰弘（香川大学）、 中野晋（徳島大学）他	開 講 曜 日 等	1 年次 後期 集中
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 四国防災・危機管理プログラムで開講される「学校防災・危機管理マネージャー」、「行政・企業防災・危機管理マネージャー」「行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー」のサブプログラムに共通な基礎的な能力を、実習を通して修得する。 ■授業の概要 危機管理に関する机上演習、現場訓練を通して危機管理マネージャーに必要な能力を修得する。 全ての授業は、実務家教員や実務家が講師を務め、少人数によるグループディスカッションにより実施する。 ■キーワード 危機管理、机上訓練、現場訓練 ■到達目標 1. 机上訓練を通して、防災・危機管理の実務能力を得る。 2. 集団現場訓練を通して、防災・危機管理の実務能力を得る。 ■授業計画 1. オリエンテーション 2. 実務演習目的の決定 3. 基礎調査① 4. 基礎調査② 5. 基礎調査③ 6. 実務演習内容の概要計画 7. 実務演習内容の詳細計画 8. 中間発表 9. 実務演習① 10. 実務演習② 11. 実務演習③ 12. 実務演習④ 13. 実務演習⑤ 14. 実務演習⑥ 15. 実務演習⑦ 16. 成果発表会			

行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	行政・企業・医療のリスクマネジメント（2単位）																																		
担 当 教 員	中野 晋（徳島大学） 平尾智広、梶谷義雄（香川大学）他	開 講 曜 日 等	1 年次 後期 水 18:30 ～ 20:00																																
授業概要及び授業計画																																			
■授業の目的 行政、企業、医療をとりまく種々のリスクについて基礎的知識を習得した上で、主として自然災害リスクに対するマネジメントの方法について理解する。 ■授業の概要 自治体や企業、医療機関の活動を行う上で、認識すべきリスクについて概説した後、わが国で多発している大規模災害への備えや応急・復旧対応の方法について事例を交えて説明する。 授業は、第4、5、7、8、10～16回は実務家教員や実務家を講師とする授業を実施する。 ■キーワード 自治体、企業、医療機関、リスクマネジメント、BCP、MCP ■到達目標 1. 行政や企業、医療機関が活動を行う上で認識すべきリスクについて理解する。 2. 行政や企業、医療機関が災害前に実施すべき防災・減災の方法や災害対応に関する理論や技術を修得する。 ■授業計画 <table><tr><td>1. ガイダンス / リスクマネジメントの必要性</td><td>中野 晋</td></tr><tr><td>2. 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み</td><td>中野 晋</td></tr><tr><td>3. 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み</td><td>平尾 智広</td></tr><tr><td>4. 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－</td><td>非常勤講師（香川県危機管理課）</td></tr><tr><td>5. 行政における災害対応体制と情報共有戦略</td><td>非常勤講師（徳島県危機管理政策課）</td></tr><tr><td>6. 応急・復旧対応の内容と方法</td><td>中野 晋</td></tr><tr><td>7. 復興プロセスの枠組みと復興支援施策</td><td>梶谷 義雄</td></tr><tr><td>8. 災害医療における現場対応と情報共有戦略</td><td>黒田 泰弘</td></tr><tr><td>9. 感染症に対するリスクマネジメント</td><td>平尾 智広</td></tr><tr><td>10. 総合討論 1</td><td>中野 晋、松本 秀應、梶谷 義雄</td></tr><tr><td>11. 企業のリスクマネジメントとその枠組み</td><td>湯浅 恭史</td></tr><tr><td>12. 企業経営におけるリスクとその対応</td><td>湯浅 恭史</td></tr><tr><td>13. 事例からみるリスクマネジメントと危機管理</td><td>湯浅 恭史</td></tr><tr><td>14. 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントと BCP</td><td>湯浅恭史、金井純子、非常勤講師 (建設会社、社会福祉施設などからの実務家)</td></tr><tr><td>15. 自然災害に対するリスクマネジメント</td><td>松本 秀應、藤目 浩二</td></tr><tr><td>16. 総合討論 2</td><td>中野 晋、湯浅 恭史、松本 秀應</td></tr></table>				1. ガイダンス / リスクマネジメントの必要性	中野 晋	2. 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋	3. 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広	4. 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－	非常勤講師（香川県危機管理課）	5. 行政における災害対応体制と情報共有戦略	非常勤講師（徳島県危機管理政策課）	6. 応急・復旧対応の内容と方法	中野 晋	7. 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄	8. 災害医療における現場対応と情報共有戦略	黒田 泰弘	9. 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広	10. 総合討論 1	中野 晋、松本 秀應、梶谷 義雄	11. 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史	12. 企業経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史	13. 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史	14. 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントと BCP	湯浅恭史、金井純子、非常勤講師 (建設会社、社会福祉施設などからの実務家)	15. 自然災害に対するリスクマネジメント	松本 秀應、藤目 浩二	16. 総合討論 2	中野 晋、湯浅 恭史、松本 秀應
1. ガイダンス / リスクマネジメントの必要性	中野 晋																																		
2. 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋																																		
3. 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広																																		
4. 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－	非常勤講師（香川県危機管理課）																																		
5. 行政における災害対応体制と情報共有戦略	非常勤講師（徳島県危機管理政策課）																																		
6. 応急・復旧対応の内容と方法	中野 晋																																		
7. 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄																																		
8. 災害医療における現場対応と情報共有戦略	黒田 泰弘																																		
9. 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広																																		
10. 総合討論 1	中野 晋、松本 秀應、梶谷 義雄																																		
11. 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史																																		
12. 企業経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史																																		
13. 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史																																		
14. 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントと BCP	湯浅恭史、金井純子、非常勤講師 (建設会社、社会福祉施設などからの実務家)																																		
15. 自然災害に対するリスクマネジメント	松本 秀應、藤目 浩二																																		
16. 総合討論 2	中野 晋、湯浅 恭史、松本 秀應																																		

行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	事業継続計画（BCP・MCP）の策定と実践（2単位）		
担 当 教 員	中野 晋（徳島大学） 磯打千雅子、萩池昌信（香川大学）他	開 講 曜 日 等	2 年次 前期 月 16:20 ～ 17:50
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 自治体の業務継続計画及び企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法を理解し、自ら B C P の策定ができる能力を修得する。			
■授業の概要 B C P に関する基本的な考え方を詳述するとともに、自治体の業務継続計画と企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法について実務能力を持たせることを念頭に講述する。 授業は、第 1 ～ 8、10 ～ 16 回は実務家教員を講師とする授業を、第 2 ～ 8、11 ～ 16 回は少人数によるグループディスカッションを実施する。			
■キーワード 自治体防災、企業防災、災害医療、B C P、M C P			
■到達目標 1. 自治体の業務継続計画の策定方法が理解できる。 2. 企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法が理解できる。			
■授業計画			
1. ガイダンス / 講義の進め方	中野 晋・湯浅 恭史・磯打 千雅子		
2. 被害想定と前提条件の整理	磯打 千雅子		
3. 外部環境と内部環境の理解	磯打 千雅子		
4. ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史		
5. 事業継続戦略・対策の検討	湯浅 恭史		
6. 事業継続戦略の決定	湯浅 恭史		
7. 教育・訓練	磯打 千雅子		
8. 事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史		
9. 地方自治体と国行政の B C P 策定手法と概況	中野 晋		
10. 医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信		
11. 演習の進め方 / 演習	中野 晋・湯浅 恭史・磯打 千雅子		
12. 演習①	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
13. 演習②	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
14. 演習③	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
15. 発表①	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
16. 発表②	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		

行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	行政・企業のリスクマネジメント（2単位）		
担 当 教 員	中野 晋（徳島大学） 平尾智広、梶谷義雄（香川大学）他	開 講 曜 日 等	1 年次 後期 水 18:30 ～ 20:00
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 行政及び企業をとりまく種々のリスクについて基礎的知識を習得した上で、主として自然災害リスクに対するマネジメントの方法について理解する。			
■授業の概要 自治体、企業、医療機関等の活動を行う上で、認識すべきリスクについて概説した後、わが国で多発している大規模災害への備えや応急・復旧対応の方法について事例を交えて説明する。 授業は、第4、5、7、8、10～16回は実務家教員や実務家を講師とする授業を実施する。			
■キーワード 自治体、企業、医療機関、社会福祉施設、リスクマネジメント、BCP			
■到達目標 1. 行政、企業、医療機関等が活動を行う上で認識すべきリスクについて理解する。 2. 行政、企業、医療機関等が災害前に実施すべき防災・減災の方法や災害対応に関する理論や技術を修得する。			
■授業計画			
1. ガイダンス / リスクマネジメントの必要性	中野 晋		
2. 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋		
3. 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広		
4. 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－	非常勤講師（香川県危機管理課）		
5. 行政における災害対応体制と情報共有戦略	非常勤講師（徳島県危機管理政策課）		
6. 応急・復旧対応の内容と方法	中野 晋		
7. 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄		
8. 社会福祉施設のリスクマネジメントとその枠組み	金井 純子		
9. 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広		
10. 総合討論 1	中野 晋、松本 秀應、梶谷 義雄		
11. 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史		
12. 企業経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史		
13. 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史		
14. 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントとBCP	湯浅恭史、金井純子、非常勤講師 (建設会社、社会福祉施設などからの実務家)		
15. 自然災害に対するリスクマネジメント	松本 秀應、藤目 浩二		
16. 総合討論 2	中野 晋、湯浅 恭史、松本 秀應		

行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	事業継続計画（BCP）の策定と実践（2単位）		
担 当 教 員	中野 晋（徳島大学） 磯打千雅子、萩池昌信（香川大学）他	開 講 曜 日 等	2 年次 前期 月 16:20 ～ 17:50
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 自治体の業務継続計画及び企業の事業継続計画の策定方法を理解し、自らBCPの策定ができる能力を修得する。			
■授業の概要 BCPに関する基本的な考え方を詳述するとともに、自治体の業務継続計画と企業の事業継続計画の策定方法について実務能力を持たせることを念頭に講述する。 授業は、第1～8、10～16回は実務家教員を講師とする授業を、第2～8、11～16回は少人数によるグループディスカッションを実施する。			
■キーワード 自治体防災、企業防災、災害医療、BCP			
■到達目標 1. 自治体の業務継続計画の策定方法が理解できる。 2. 企業や医療機関の事業継続計画の策定方法が理解できる。			
■授業計画			
1. ガイダンス / 講義の進め方	中野 晋・湯浅 恭史・磯打 千雅子		
2. 被害想定と前提条件の整理	磯打 千雅子		
3. 外部環境と内部環境の理解	磯打 千雅子		
4. ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史		
5. 事業継続戦略・対策の検討	湯浅 恭史		
6. 事業継続戦略の決定	湯浅 恭史		
7. 教育・訓練	磯打 千雅子		
8. 事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史		
9. 地方自治体と国行政のBCP策定手法と概況	中野 晋		
10. 医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信		
11. 演習の進め方 / 演習	中野 晋・湯浅 恭史・磯打 千雅子		
12. 演習①	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
13. 演習②	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
14. 演習③	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
15. 発表①	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		
16. 発表②	中野晋・湯浅恭史・磯打千雅子・萩池昌信・松本秀應		

実務演習科目

科 目 名	行政・企業防災・危機管理実務演習（1単位）		
担 当 教 員	白木渡（香川大学）他	開 講 曜 日 等	2 年次 後期 指導教員と相談
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。 ■授業の概要 行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を担当教員の指導の下で実施し、実務能力を修得する。 全ての授業は、実務家教員が講師に加わり、少人数によるグループディスカッションや実地での体験活動により実施する。 ■キーワード 行政、企業防災、実務演習 ■到達目標 行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。 ■授業計画 1. オリエンテーション 2. 実務演習目的の決定 3. 基礎調査① 4. 基礎調査② 5. 基礎調査③ 6. 実務演習内容の概要計画 7. 実務演習内容の詳細計画 8. 中間発表 9. 実務演習① 10. 実務演習② 11. 実務演習③ 12. 実務演習④ 13. 実務演習⑤ 14. 実務演習⑥ 15. 実務演習⑦ 16. 成果発表会			

実務演習科目

科 目 名	救急救命・災害医療実務演習（1単位）		
担 当 教 員	黒田泰弘（香川大学）他	開 講 曜 日 等	2年次 後期 指導教員と相談
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 災害・危機対応マネージャー（医療分野）として、職場や地域で実践できる行動力を養う。 ■授業の概要 自ら職場・地域の問題点を抽出し改善していくための手段や手順を学習する。 全ての授業は、実務家教員が講師に加わり、少人数によるグループディスカッションや実地での体験活動により実施する。 ■キーワード 問題解決能力、地域医療貢献、行動力・実践力 ■到達目標 1. 問題点の抽出ができる。 2. 問題点の解決を通して地域医療に貢献できる。 ■授業計画 1. オリエンテーション 2. 実務演習目的の決定 3. 基礎調査① 4. 基礎調査② 5. 基礎調査③ 6. 実務演習内容の概要計画 7. 実務演習内容の詳細計画 8. 中間発表 9. 実務演習① 10. 実務演習② 11. 実務演習③ 12. 実務演習④ 13. 実務演習⑤ 14. 実務演習⑥ 15. 実務演習⑦ 16. 成果発表会			

2020 年度入学生 四国防災・危機管理プログラム 授業時間割

■ 1 年次 (2020 年度)

開校 学期	開講時間	月	火	水	木	金
		科目名	科目名	科目名	科目名	科目名
前期	18:30 ～ 20:00	リスクコミュニケーション 〔6P〕	危機管理学〔7P〕			
後期	18:30 ～ 20:00		災害と健康管理・メンタル ヘルスケア〔8P〕 (徳島大学ではメンタルヘ ルスケアとして開設)	行政・企業・医療のリスク マネジメント〔10P〕 行政・企業のリスクマネ ジメント〔12P〕		

後期	集中講義	防災・危機管理実習〔9P〕	1泊2日
----	------	---------------	------

■ 2 年次 (2021 年度)

開校 学期	開講時間	月	火	水	木	金
		科目名	科目名	科目名	科目名	科目名
前期	16:20 ～ 17:50	事業継続計画 (BCP・ MCP) の策定と実践〔11P〕 事業継続計画 (BCP) の 策定と実践〔13P〕				

後期	実務演習 科目	行政・企業防災・危機管理実務演習〔14P〕	指導教員と相談			
		救急救命・災害医療実務演習〔15P〕	指導教員と相談			

※各講義の詳細は [] 内に記されたページを参照のこと。

※各コースで受講が必要な講義は 5 ページを参照のこと。

四国防災・危機管理プログラム

2020 年度 履修の手引き

発行日 2020 年 1 月 6 日

発行者 四国防災共同教育センター

〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20 香川大学創造工学部内
TEL 087-864-2539 FAX 087-864-2554